

全国環境連

12月号

令和6年度 第4回理事会を開催

全国環境連は、去る11月27日に宮崎市の「ホテルメリージュ」において第4回理事会を開催し、第20回全国大会の事業報告、事業推進部会事業等について審議、決定した。

○日時：令和6年11月27日(水) 16時～

○会場：ホテルメリージュ

○理事数及び出席理事数：

理事 23名、出席理事 20名

○概要：事務局より、出席理事数が定款規定の定数を満たしており本理事会が成立している旨を報告。河野会長欠席のため、大川副会長が議長となり議案の審議に入った。

1. 第20回全国大会について

実行委員会より、事業報告及び収支決算(案)について資料に基づき説明があった。

また、大会の記録映像について差し支える箇所を除いたものをホームページから閲覧できるようにしたいとの提案があり、了解された。

議長より、収支決算(案)について議場に諮ったところ異議なく承認された。

第21回大会の開催日、会場について報告があった。

2. 事業推進部会活動報告

国際事業における都市間連携調査業務について、1月にインドネシアにおいて開催される現地ワークショップについてタイムスケジュールの説明があり、全国環境連としても参加を予定しているの、希望者はぜひ参加していただきたいとの発言があった。

災害廃棄物処理支援に関する調査や各県事業活動報告用フォーマットについて説明があった。

3. 連合会の運営等諸般について

1) 土木学会論文について

2) 予算の流用について

3) その他



150L・200L ブロワがリニューアル

リニア駆動フリーピストン方式採用で
消費電力削減・高耐久を実現



NEW
メドーブロワ®
LA-150F/LA-200F

低消費電力
最大約19%消費電力を低減(当社比)
電気代節約、CO₂削減に貢献

長寿命
可動部品はピストンのみ
リニア駆動フリーピストン方式を採用

安心
サーマルプロテクタ搭載
異常加熱すると自動停止
(温度が下がると自動復帰)

メンテナンスが容易
フィルタ、ピストン交換は
ネジを緩めるだけの簡単作業

低作動音
屋外、夜間運転を考慮した静音設計

製品外観



リニア駆動フリーピストン方式

メドーブロワ®



ブロワ検索

修理研修受付中／デモ機依頼お気軽に！

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

メドー事業部 リニア販売部

〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4 Tel:03-5748-5521 Fax:03-3754-0258

www.nitto-kohki.co.jp

環境省などへ政府に対する要望書を提出



12月19日に全国環境連執行部は、東京で開催された第20回全国大会で決議された政府に対する要望を、環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 松崎裕司課長に手渡し説明するとともに、業界として経営の安定を維持し、廃棄物の適正処理を行い循環共生型の社会づくりを図ることを表明した。また、農林水産省、国土交通省、経済産業省の関係各部課にも同様の要望書を提出した。

政府に対する要望書

〔第20回全国環境連全国大会決議〕

私たち一般廃棄物処理業者は、今日まで、市町村の自治事務の代行者として長年にわたり、ただひたすらに廃棄物の適正処理に取り組み、我が国の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、近年、下水道の整備普及による業界の業務は、目に見えて先細りの一途をたどり、経営圧迫による危機感を強めております。

つきましては、当業界の現状をご理解の上、下記の事項について特段の措置を講じられますよう切に要望いたします。

記

1. 下水道の整備により影響を受ける一般廃棄物処理業者等に対して、安定かつ継続する業務を保証する観点から「合持法」に基づく合理化事業計画の策定を行い、それを実行に移すことにより、転換業務（補償）の確保及び継続を図られたいこと。
2. 汚水処理施設の整備については、現状に応じて、人口減少等を考慮し、下水道処理区域の一部を浄化槽処理促進区域へ政策転換し、経済的で効率的な浄化槽の整備が推進されるよう指導されたいこと。
3. 一般廃棄物処理計画に基づき一般廃棄物の適正な処理が確保されている場合には、いたずらに新たな業の許可を行えば、過当競争を招き、根幹である適正な処理が困難となるおそれがあるため、市町村の処理責任に基づき、既存の適正規模の処理施設や体制の維持及び委託・許可制度が適正に運用されるよう地方自治体に対する指導の徹底を図られたいこと。
4. 頻繁に発生する大規模災害に際し初動対応が非常に重要であり、平時より人員や支援車両を確保し、迅速な支援システムを運用するための措置を講じられたいこと。
5. 浄化槽の正常な機能が常時確保されるよう、適正な維持管理に有用な法整備を含めた措置を講じられたいこと。
6. 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進は、水環境保全を強く推進するため、早急に国主導で推進を図られたいこと。
7. 災害に強いなどの特性を有する、浄化槽に係るイノベーションに関し、地震に強く長寿命化への改築・施工、最適な維持管理システムの構築や浄化槽汚泥の活用促進など技術、社会システム、ライフスタイルに着目した、研究開発を重点的に推進する措置を講じられたいこと。

令和6年12月

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
会長 河野正美

MORITA × KAO

共同開発

臭気・衛生対策製品

花王が開発した液をモリタエコノス独自技術で効率的に噴霧！



菌・ウイルス除去に

ミラクルキヨラTM菌・ウイルスを99%除去※
エタノール不使用で引火の心配なし！

※すべての菌・ウイルスを除去するわけではありません。

生ゴミ臭対策に

ミラクルキヨラTM

専用香料で不快な悪臭を爽やかな香りに！

ポンプオイルに添加するだけ！

不快臭対策に

ミラクルチェンジャーTM

不快な悪臭を心地よい香りに変化！



環境保全車両の開発・製造・販売

株式会社モリタエコノス

Webサイトは
こちらから

このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。
アクセス解析は匿名で収集されており個人を特定するものではありません。
この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができます。
お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

浄化槽整備推進関係 令和6年度補正予算(案)の概要

環境省は11月29日に今年度の補正予算案で循環型社会形成推進交付金(浄化槽分)に5億円を計上した。また、地域のレジリエンス(災害等に対する強靱性の向上)・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業(エネルギー対策特別会計)は20億円の内数となっている。

循環型社会形成推進交付金の主な支援メニューは、環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業(交付率1/2)、汚水処理施設概成に向けた浄化槽整備加速化事業(交付率1/2)〈R8までの時限措置〉、単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換、浄化槽災害復旧事業、市町村が定める浄化槽長寿命化計画に基づく浄化槽の改築事業、浄化槽整備効率化事業である。

環境省 浄化槽法施行状況点検検討会報告書の取りまとめについて

環境省は、前年度より継続して計5回にわたり「令和6年度浄化槽法施行状況点検検討会」を開催し、検討結果を報告書として取りまとめた。

本検討会では、改正浄化槽法に基づく制度の更なる活用に向けて、特定既存単独処理浄化槽の判定基準等を定めた指針の改定や浄化槽台帳の整備・活用による維持管理の徹底等に係る専門的かつ具体的な検討を進めるため、全5回にわたり、環境省、有識者、地方公共団体、業界関係者等の幅広い構成員によって精力的な審議を実施し、地方公共団体及び業界関係者へのヒアリングの結果も踏まえ、「特定既存単独処理浄化槽に対する措置」及び「維持管理向上のための浄化槽台帳の整備や維持管理情報の電子化」に関する基本的方向性と具体的措置について取りまとめた。

今後、この基本的方向性及び具体的措置に沿って、環境省では、本年度中に指針の改正やマニュアルの策定等に取り組むとともに、次年度以降も制度的対応の検討や補助金予算の継続的な確保等を行い、令和7年度から5年の間に、保守点検・清掃情報や11条検査結果を活用した特定既存単独処理浄化槽の把握及び判定のサイクルを確立させることを目指す。

また、浄化槽行政の実務を行う都道府県や市町村に対して、こうした動きを踏まえ、予算制度等の活用と合わせて、指定検査機関や業界団体と連携しつつ、具体的措置として示された内容に確実に取り組むことを求めた。

「令和6年度浄化槽法施行状況点検検討会報告書」



<https://www.env.go.jp/recycle/jokaso/policy/committee/inspection/>

金沢から
全国、海外に・・・
誠意と信頼の
ネットワーク



■取扱商品

エアポンプブロー ー ガス検知器・送排風機
電動工具・制御機器・記録紙 水中ポンプ・陸上ポンプ
配水管清掃機器・薬剤 浄化槽関連部品・FRP補修剤
給水ポンプ・薬注ポンプ 各種産業用ベルト・ホース
マンホール・その他
水質検査器・理化学機器 浄化槽用消毒薬・維持管理剤

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。



株式会社 日環商事

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地

TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348

FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718

E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp

http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101

TEL:087-813-7621 FAX:0120-617-718

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目21号-7

TEL:092-558-4828 FAX:0120-617-718

熊本県環整協創立50周年記念式典・祝賀会

去る11月15日(金)、熊本県環境整備事業協同組合の創立50周年記念式典・祝賀会が熊本ホテルキャッスルにて開催され、全国環境連理事をはじめ、熊本県知事や国会議員、県議会議員、県の関係部局職員、関係市町村長及び市町村担当課長、県内外関係団体、関係事業者等の来賓の他、組合員も含めて約200名が参加した。

式典に先立ち、拓殖大学地方政治行政研究所特任教授(防災教育センター長)の濱口和久氏から、『日本に必要な防災・減災の視点～能登半島地震の教訓を踏まえて～』と題しての記念講演が行われ、「能登半島地震では発災から数日間間は停電し、暖房設備もなく、断水によるトイレ問題も深刻な状況で、日本における避難所の環境は阪神・淡路大震災以来ほとんど改善されていない」のに対し、同じ地震多発国であるイタリアでは、「発災後すぐに州(自治体)備蓄の『テント・簡易ベッド・トイレ』を1ユニットとして大型トレーラー数台で運ぶ体制が整っており、遅くとも2日目には簡易ベッドと冷暖房機が設置され、家族単位のテントが展開される」ことが紹介され、「被災地域以外の大多数の人は、どうしても他人事として見てしまいがちだが、自衛隊や行政機関に依存するのではなく、日本列島のどの地域に暮らしていても常に地震と隣り合わせであることを自覚し、地域での防災対策の強化に取り組むべきである」などの話があった。

記念式典では、犬童英昭理事長より、「組合設立後、県内各地において、仲間たちと力を合わせて数々の困難を乗り越えてきた。多少の意見の違いがあっても、同じ仲間として互いに励ましあいながら築いてきた信頼関係、これが組合の原

点」、「熊本の美しい水環境を将来へ継承していくため、当組合は、今後も真摯に業務と向き合いながら、新しい時代のツールを取り入れつつ経営と技術の革新を進め、次世代の育成や意識改革などに積極的に取り組んでいく」との致辞を述べた。

続いて、特別功労者表彰として、武林公久氏、島田好久氏、篠崎武氏の歴代理事長3名に表彰状と記念品を贈呈するとともに、当組合に対して長年、ご支援とご協力をいただいている当組合顧問県議団長の松田三郎氏や(公社)熊本県浄化槽協会、熊本県環境保全協会、協同組合熊本県環境技術協議会の4者に感謝状を贈呈した。

また、当組合50周年の節目に当たり、環境保全や再生に向けた「ふるさとくまもとづくり」を応援する趣旨で、熊本県に対して寄附金贈呈を行った。

祝賀会では、アトラクションとして、アメリカ・ラスベガスで世界大会第3位のパーテンドアーアーティストの増田タカノリ氏によるパフォーマンスショーが行われ、スペシャルカクテル100杯が振る舞われた。



記念式典



記念祝賀会

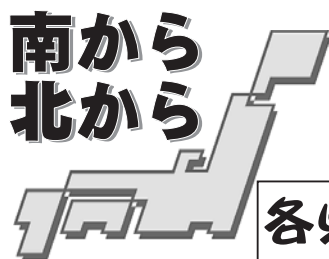
溶存酸素計 DO計	pH/ORP計	MLSS/界面計	塩素イオン計
ガルバニ式センサー交換タイプ DO-11Z  測定範囲 DO : 0.00~20.00mg/L 飽和率 : 0~200% 水温 : -5.0~50.0℃	pH/ORP計 KP-11Z pH計 KP-11F  計量法 型式承認 申請中 測定範囲 pH : 0.00~14.00 pH ORP : 0~±1999mV (KP-11Zのみ標準) 温度 : 0.0~50.0℃	MLSS/界面計 SS-10Z MLSS計 SS-10F  測定範囲 MLSS : 0~20000mg/L 水深 : 0.00~5.00m (SS-10Zのみ)	測定レンジ自動切替機能付 CL-11Z  測定原理 固体膜塩素イオン電極法 測定範囲 : 0.1~2000mg/L

その他の営業品
 濁度計、色度計
 UV式COD計、導電率計

KPK 笠原理化工業株式会社

〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目-133-8 TEL.0480-38-9151(代) FAX.0480-38-9157

<https://www.krkjpn.co.jp>



各県組合報告

鹿児島県

▼令和6年度事業主研修会開催

11月14日、マリンパレスかごしまにおいて事業主を対象に研修会を開催した。

講演Ⅰでは、「浄化槽法施行状況点検検討会とりまとめと浄化槽法改正・法定協議会の動向」をテーマに、講師の鹿児島県土木部生活排水対策室室長の綾織孝文氏に講演をいただいた。

まず、環境省が開催した検討会に委員として参加した綾織氏から、①保守点検・清掃情報の収集の仕組みを有効に機能させるための取組や維持管理情報の電子化の推進、②法定協議会等を活用した関係者間の連携体制の構築の推進、③財政支援の継続、周知の徹底など、テーマごとの検討会での協議状況や出された主な意見、鹿児島県が主張した内容等について説明された。

また、本県で設置予定の法定協議会について、協議会と作業部会の具体的な構成員や協議の進め方、年間スケジュール案等について説明されたほか、浄化槽法改正の動き、浄化槽に関する不適切事例と県の対応など、幅広い内容の講演であった。

講演Ⅱでは、「概成後の鹿児島県における新たな体制整備に向けた提案」をテーマに、全国環境連顧問の国安克彦氏に講演をいただいた。

講演は、過去を知った上で未来を考えるということで、うんちの役割に始まり、鹿児島県の生活排水処理施設の整備状況や将来推計人口を踏まえた今後の污水处理施設の望ましい整備の方向性について、詳細なデータを用いて説明された。

そして、社会情勢の変化に対応する新たな体制整備のシナリオと題して、関係者が共有すべき将来像を、ICTの導入・デジタル化の実装に始まり、ビッグデータの解析に基づく効率化、新たな生活排水処理システムの提案など、要となる点について話があった。特に、デジタル化の必要性は認識されているが、本質的な変革が実現していない理由は、日本の内向きな社会システムにあることから、デジタルといかに向き合い、新たな価値を生む変革につなげられるかが問われているとのことであった。

私たち浄化槽維持管理業において、今後デジタルは欠かせないも



のであり、いかに活用していけるかが重要であることを再認識する大変有意義な研修会となった。

▼第31回 浄化槽維持管理技術研修会開催

11月14日「マリンパレスかごしま」において、組合員及び各事業所から管理士等、約210人が参加して浄化槽維持管理技術研修会を開催した。

研究発表は、まず始良衛生(有)の上川優常氏等4名が、『浄化槽の小型化に伴うろ材詰まりの課題と最適清掃法の提案』をテーマに発表を行った。小型化が進む浄化槽において、従来の清掃方法では不十分であり、①ろ材の中までホースを通す、②ブロワーを活用する、③ガス抜きによるバブルを利用する方法で検証を行った結果、ガス抜きを上手に利用して効果的かつ効率的な清掃が実施できるとの結果が得られたとの内容であった。

次に、榎大隅衛生鹿屋の大野智和氏等3名が、『浄化槽の計画清掃について』をテーマに発表を行った。同社は平成23年度に計画清掃の取組を開始しており、変更後の清掃月によってはお客様への説明で苦勞する点はあるものの、①清掃作業の予定が組みやすくなる、②汚泥濃縮車の導入により移動距離を短縮できるとの内容であった。

また、講演に移り、公益財団法人日本環境整備教育センター調査・研究グループの古市昌浩氏から講演をいただいた。第1部は『構造例示型浄化槽と性能評価型浄化槽の清掃について』をテーマに、①清掃の必要性、②清掃に関する法令、③清掃の一般的な流れ、④浄化槽の分類と具体的な清掃方法等の説明の後、型式ごとの清掃の時期の判断の目安及び清掃上の留意点について詳細に講義していただいた。第2部は『浄化槽のカーボンニュートラルに係る取組』をテーマに、近年の浄化槽行政の方向性や地球温暖化対策、処理技術の開発動向のあと、浄化槽分野の研究成果として講師も参画された「浄化槽の技術開発と普及状況の変遷に基づく温室効果ガス排出量のシミュレーション解析」の説明があった。

今回は当研修会として初めて清掃を中心とした内容であったが、今後業務を行っていく上で大変参考となる研修会であった。



熊本県

▼令和6年度「浄化槽フォーラム・熊本」

11月6日(水)に人吉市カルチャーパレスで、熊本県浄化槽普及促進協議会等が主催する標記フォーラムが開催され、65名の組合員等が参加した。全国浄化槽進歩市町村協議会事務局長の久川氏から「最近の浄化槽行政の動向(浄化槽法施行状況点検検討会等)について」、(公社)熊本県浄化槽協



会から「未受検者対策と7条検査の不適切事例について」と題しての講演があった。

▼第13回理事会

11月8日(金) 13時より組合会議室にて開催し、次の議案等の審議及び報告を行った。

1. 全国環境連第20回全国大会(東京)の参加費清算の件
2. 創立50周年記念事業の件
3. 令和7年度県予算に関する要望の件
4. 浄化槽保守点検業務提携に関する件
5. 全国環境連会議報告
6. くまもと浄化槽適正管理促進協議会
7. 浄化槽フォーラム・熊本
8. (公社)熊本県浄化槽協会会議 他

▼第7回創立50周年記念事業実行委員会

11月8日(金) 15時より組合会議室にて開催。記念行事において使用する来賓等配席名簿や進行概要等の資料、物品等について確認を行った。

▼組合創立50周年記念行事

11月15日(金)に熊本ホテルキャッスルにて開催。約200名の参加があった。

拓殖大学地方政治行政研究所特任教授(防災教育センター長)の濱口和久氏から、「日本に必要な防災・減災の視点～能登半島地震の教訓を踏まえて～」と題しての記念講演があり、記念式典において、元理事長に対する組合特別功労者表彰や外部団体等に対する感謝状贈呈、熊本県に対する寄附金贈呈等を行った。最後に祝賀会を開催し、盛会の裡に記念行事を終了することができた。

▼水俣市への寄附金贈呈式

11月25日(月)に水俣市を訪問し、副市長と面会のうえ、公衆衛生向上や環境保全に活用していただくため、寄附金を贈呈した。



記念講演の様様



福岡県

福岡県環境整備事業協同組合連合会は、去る11月22日(金)に福岡連会館において11月理事会を開催した。

一、執行部報告

1. 浄化槽法定検査受検促進・調査事業の実施に係る各単協への周知について(依頼)

昨年度に引き続き、浄化槽法定検査受検促進・調査事業が行われる。調査は、昨年度、事業文書を送付していない浄化槽管理者で、昨年度の法定検査の受検申込みがないものを対象に受検促進文書や使用状況等調査票等が送付され法定検査の受検を促し浄化槽の使用状況や維持管理状況を明らかにし、状況に応じた指導を行うとされている。

2. 令和5年度末污水处理人口普及状況について

環境省、国土交通省、農林水産省の合同で全国の污水处理人口普及状況を調査した結果が出されている。令和5年度末における全国の污水处理施設の処理人口は1億1,614万人であり污水处理人口普及率は93.3%(令和4年度末92.9%)となっている。一方で、約830万人が污水处理施設を利用できない状況にある。特に人口5万人未満の市町村の污水处理人口普及率は、前回調査から0.6ポイント増の84.0%となったが、全国平均から大きく遅れている。

処理人口を各処理施設別に見ると、下水道1億128万人(総人口に対する普及率81.4%)、農業集落排水施設294万人(同2.4%)、浄化槽1,177万人(同9.5%)、コミプラ15万人(同0.1%)になっている。

污水处理施設の整備は、地域の実情に応じた整備方法、整備スケジュール等を設定した「都道府県構想」に基づき各地方公共団体が効率的、効果的な実施に努め、国は污水处理施設の未普及地域の早期解消に向け支援を推進して行くとしている。

二、各部報告

経営研修部、総務部、青年部より報告

三、各地区報告

各地区より報告

四、その他

1. 2025年県民手帳配布
2. 12月・令和7年1月理事会開催
3. その他

山口県

▼合特法に係る説明会の開催

山口県主催による合特法に係る説明会が、11月5日(火)から11月29日(金)まで、保健所単位の県下8カ所で開催された。各市町の担当者と組合員から、延べ200名の出席があった。

平成12年から始まった本説明会は、毎年組合から山口県に要望をしているもので、感染症等の影響で中止となる年もあったが、今回で22回目の開催となった。

はじめに山口県担当者より、合特法の目的、合理化事業

計画の概要、策定状況および関連通知、災害廃棄物処理計画等について説明がされ、その説明を受け、組合説明者からは、「合特法に係る山口県環境整備事業協同組合の見解と要望」として、地元組合員から事前に収集した情報や意見をもとに、見解と要望を伝えた。



山口県では大半の市町で合理化事業計画が策定されており、今年度も昨年に引き続き、適正な計画更新について、頻発・激甚化する自然災害における当組合の支援事例について説明をした。今後も合理化事業計画の更新・継続と災害協定締結の重要性を伝えていく。

▼電気系保全実践技術講習（中級講座）の開催

11月6日(水)、8日(金)と、12日(火)、14日(木)の2回、ポリテクセンター山口において本講習を開催し、17名の参加があった。中級講座では、中大型浄化槽の保全技術の向上のために、PLCの故障診断と応急処置、診断方法、診断実習を取り入れている。

講習を始めて5年目となる今年度は、初級講座と中級講座、浄化槽メンテナンス講座の3つの講座を各2回ずつ開催し、延べ57名の参加があった。

組合員からの意見で最も多かった小型合併浄化槽を対象とした浄化槽メンテナンス講座は、FRPの補修とブロワの部品交換、ポンプ用配線の交換を中心としており、受講者からは高い評価を得ることができた。

本講習は組合員の知識の取得、技術の向上を目的としているため、組合員の意見を取り入れ改良改善を加えながら、来年度以降も継続開催をしていく。



▼受賞者報告

理事の内山正幸氏が、令和6年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰（一般廃棄物関係事業功労者）を受賞され、副理事長の川元正氏が、令和6年度山口県環境生活功労者知事表彰（生活環境改善事業功労者）を受賞された。

島根県

10月24日(木) ヒルトン東京お台場において、全国環境連第20回全国大会が開催され、本県からも17名が参加した。大会式典の記念事業では、特にインドネシアで行われている調査事業について、今後地元民の浄化槽の普及に対する理解度が一層進むことで、爆発的に増加する人口問題に付随して起きる環境問題等に適切に対応する政策の一翼を担うことができるものであり、当該事業の今後の成功を期待し、パネルディスカッションに熱心に耳を傾けた。大会式典終了後行われた懇親会では、他県からの参加者をはじめ多くの方々と懇親を深めることができ、有意義な大会となった。



大会懇親会の閉会挨拶を行う米山理事長

11月11日(月)に島根県廃棄物対策課長が当組合を訪問され、米山理事長、小倉専務理事と、災害協定の見直しについて最終協議を行った。今後、日程調整ができ次第、島根県・当組合・島根県保全協の3者において新協定書の締結を行う予定である。



右-米山理事長、隣-小倉専務、中央-阪口県課長



臭気改善で住み続けられるまちづくりを

衛生車・吸引車の臭気対策に デオマジック®VC1 オイル

DEOMAGIC® VC1 Oil

デオマジック®VC1オイルは糞便臭を甘い香りに変化させる潤滑油です。
作業者様や地域住民の皆様に大好評です。

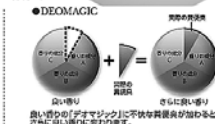
- お 得！ 脱臭剤が不要になります。
- 簡 単！ 今お使いのオイルと同様に定期的な交換だけ
- 新技術！ 不快臭を取込んで良い香りに変える技術

お問い合わせ先

東邦車輛株式会社 横浜部品営業所
〒230-0003
神奈川県横浜市鶴見区尻手3丁目2番43号
TEL: 045-575-5241 / FAX: 045-575-3271
Email: deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp



消臭のメカニズム



DEOMAGIC® VC1 Oil
デオマジック®VC1 オイル



全国ネットの特装自動車の総合メーカー

東邦車輛株式会社

営業本部	TEL: 045-575-9901	信越営業所	TEL: 025-283-6571
直販部	TEL: 045-575-9902	中部支店	TEL: 052-218-5123
直販部直販課	TEL: 045-575-9253	金沢営業所	TEL: 076-223-1191
北海道支店	TEL: 011-633-7101	近畿支店	TEL: 0798-52-2100
東北支店	TEL: 022-782-5040	東邦車輛サービス	TEL: 072-433-2401
仙台部品出張所	TEL: 022-782-5065	中四国支店	TEL: 082-890-2882
北関東支店	TEL: 0276-89-1551	九州支店	TEL: 092-441-1951
茨城営業所	TEL: 0298-22-5569	福岡部品営業所	TEL: 092-441-0634
関東支店	TEL: 03-3843-3351	南九州営業所	TEL: 099-252-2070

栃木県

▼令和6年度 第4回理事会

11月22日(金) 10時より組合会議室にて開催した。審議及び報告は以下の通り。

- ・全国環境連理事会・全国大会報告
- ・全国環境連各委員会の報告
- ・栃木県研修委員会の報告
- ・令和6年度社会奉仕活動について
- ・組合創立50周年記念式典について
- ・青年部活動報告
- ・その他

組合講習会

11月22日(金) 13時30分より宇都宮市文化会館にて開催。

テーマ：最新の労働法制と労使トラブル防止について
～労働トラブルを未然に防ぐには～

講師：こんくり株式会社

特定社会保険労務士 安 紗弥香 氏

組合創立50周年記念式典

令和7年1月24日(金) 14時30分よりニューイタヤにて開催予定。

青年部第2回研修会

12月2日(月) 15時より組合会議室にて開催。

テーマ：「一般廃棄物処理業務全般と許可業者の料金制度に関する指針」

講師：副理事長 北川 典生 氏

* 国安顧問による講演会の開催について

* 長野県浄化槽協会「清掃に関する検討委員会」に向けた意見について

* 近隣県との災害時支援協定締結について

他に、今後の理事会においてペーパーレス化を図るため、ノートPCやタブレットを持参できる理事に対しては資料を事前にデータ配布し、紙による配布を段階的に減らす試みをしていくことに決まった。

また、12月2日(月)には諏訪郡原村役場において、原村と地元組合員である有限会社フォレストクリーン、長野県環境整備事業協同組合の3者で「災害等発生時におけるし尿、浄化槽汚泥及び下水汚水の収集運搬に関する協定」が締結され、調印式が行われた。

同様の協定は長環整としては14自治体目で、諏訪地方では初めて。

原村は大東建託が公表した「街の幸福度ランキング2023」で自治体ランキング全国1位を獲得、八ヶ岳の麓に広がる美しい自然と街へのアクセスの良さで移住者に人気のエリアである。

この協定は近年の激甚化する地震や豪雨災害への備えや、住民に安心して住み続けてもらえるための施策として、同社が数年前から村に対し問題提起を続け、昨年10月に村長との意見交換会で発言するなどして今回の協定締結へと繋がった。



長野県

11月21日(木) 佐久市長野県立武道館会議室に於いて第5回理事会をリモート併用で開催した。報告、協議事項については以下の通りである。

* 浄化槽法改正案について

発行者

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24 AKビル5階B



全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
会長：河野正美

TEL 03-5207-5795 FAX 03-5207-5796

年間購読料 2,200円 1部 220円 消費税含

し尿収集容量表示計 KANTARO® 環太郎®

“環太郎”は収集量の正確な計測と、料金の明瞭化でし尿処理業務の最適化を推進します。

簡単操作で 速くて 正確 そして 安価!

特許: 第2736403・第5742875

◆ 取り付けが簡単!

◆ 安 価!

◆ 高 精 度!

シンプルな構造で、空気/液体分離用タンクや計量器のロードセルは不要。出張取り付けも可能です。



実績24年 ありがとうございます

IC SOKKI
IC Measuring Instruments Co., Ltd.

アイシー測器株式会社

URL <http://ic-sokki.sakura.ne.jp> E-mail ic-sokki@arion.ocn.ne.jp

本社/〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2丁目14-46
TEL.06-6384-1543 FAX.06-6338-8557



収集量表示計